

卒業・進級判定基準

令和4年4月1日より改正

第1条 卒業・進級の判定基準は以下のとおりとする。

- ①進級認定・・・各年次の合計修得単位が60単位（900時間）以上（注1）
- ②卒業認定・・・2年制の場合：2年間の合計修得単位が120単位（1,800時間）以上
3年制の場合：3年間の合計修得単位が180単位（2,700時間）以上
※動物看護科3年制の合計修得単位は160単位（2,700時間）以上
4年制の場合：4年間の合計修得単位が240単位（3,600時間）以上
※動物看護科4年制の合計修得単位は218単位（3,600時間）以上

（注1）ただし、動物看護科については、3・4年制とも当該学年において、履修すべき科目のうち履修認定されない科目（不合格）が1科目以上あれば、進級・卒業できない。

- ③上記、進級及び卒業の認定基準に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。

第2条 第1条の基準を満たさない者は、原級留め置き（留年）または卒業保留となる。

第3条 卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。

第4条 卒業年度の3月31日を超え、卒業単位未修得による卒業保留の場合、同年4月1日からの次年度において、3月31日までに卒業認定されない場合は、3月31日付で除籍となる。なお、同年4月1日以降は規定の在学期間を超えるため、学生としての身分はなく、よって学生証も発行されない。

通常の評価（試験、成績）基準

出席率	定期試験	成績評価	合否
66.7% 以上	100～80点	A	合格
	79～70点	B	
	69～60点	C	
	59～0点	D	不合格

（注）既定の出席率を満たし、A～C評価の場合、単位認定される。

（GPA制度※による評価基準）

出席率	試験点数	成績評価	判定内容	合否
66.7% 以上	100～90点	S (4.0)	特に優れた成績を示した。	合格
	89～80点	A (3.0)	優れた成績を示した。	
	79～70点	B (2.0)	妥当と認められる成績を示した。	
	69～60点	C (1.0)	合格と認められる最低限度の成績を示した。	
	59～0点	F (0.0)	合格と認められるに足る成績を示さなかった	不合格

（注1）規定の出席率を満たし、S～C評価の場合、単位認定される。

（注2）成績の出ない科目（認定科目）の場合、GPA評価対象外となる。（例：海外実学研修 等）

（※）GPA制度の詳細は、前述の「試験規程 別表1」を参照する。